

烏川溪谷緑地のストック効果

烏川溪谷緑地 安曇野市 穂高・堀金（都市公園）

公園概要

烏川溪谷緑地は、国営アルプスあづみの公園と機能を補完しあいながら一体となって整備された都市公園である。

全体面積 約153ha

供用開始 平成14年4月 15.7ha(水辺エリア)

平成17年4月 34.0ha(森林エリア)

公園種別 都市公園(緑地)

管理状況

平成26年度

来園者数 28,300人

一般者向け公開学習会20回 約390人参加

子供向け環境学習会 15団体 約1,200人

利用者の声

身近に自然を体験・観察できる場所があって幸せです！

利用者の声

いつも綺麗に整備されていて気持ちがいいです！

公園利用者が、五感を使って自然に親しみ、自然を楽しみ、その中で様々な体験ができる。



概要図



○烏川溪谷緑地のストック効果とは

- ①環境保全 ②市民との協働 ③環境教育 ④観光振興 などが挙げられる

①環境保全

現在ある自然を守り、多様で豊かな自然を活かしながら利用できる公園を目指している。
遊具はつくり、整備は園路に留めている。

水辺エリア



森林エリア



烏川渓谷緑地 安曇野市 穂高・堀金（都市公園）

②市民との協働

市民との協働により「整備」、「維持管理」、「利活用の検討」を行っている。

◇市民の代表：市民会議とは
市民と長野県（及び関係者）が
「共に考え、共に創る」ために検討、実行
する会（平成16年2月発足）

平成26年度実績 市民会議会員 25名

活動：主催イベント 3回
森林エリア内の巡回点検、園内整備、
カタクリ調査、樹木調査、
森林保全作業など 50回以上



③環境教育

本緑地は、単に遊んで楽しいというだけでなく、学習・体験の場として利用者に提供している。

一般向け公開学習会の実施状況



オオルリ観察会

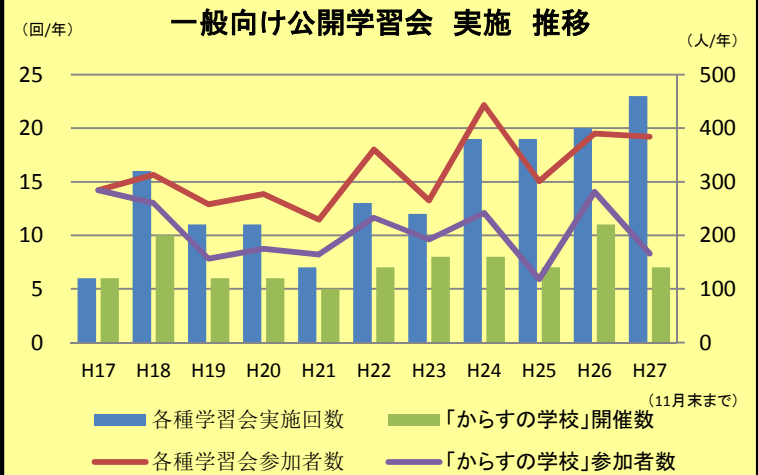
参加者の声

講師先生の説明が
理解しやすく、大変勉強
になりました！



野の花観察会

山の日記念イベント

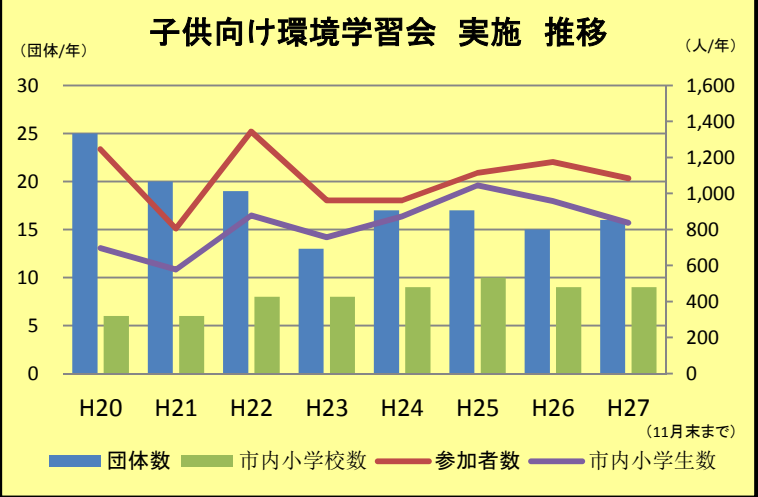


烏川渓谷緑地 安曇野市 穂高・堀金（都市公園）

小学生対象環境学習会の実施状況



子供たちの声
いろいろ体験できて
楽しかった！
ありがとうございました！



○市内の小学校対象の環境学習会を50年継続した場合（現在の人口で仮定）

： 安曇野市民 約9万5千5百人のうち約5万人（半数以上）が環境教育を体験型で学習することになる！

◇今、私たちに求められているものとは → 末永く、この自然・財産を守り、残すこと！
この教育を継続的に行っていくこと！

④観光振興

(1)観光関係者との連携 (2)施設の利用促進

(1)観光関係者との連携

- ・「あづみのパークコミュニティ会議」（H27.3.11発足）において観光関係者とイベント等の情報を共有している
- ・近隣の公共の宿「ほりでーゆ」にイベント（学習会）予定、園内状況の情報提供を行っている
効果：①イベント後の入浴客や宿泊客が増加
②宿泊を伴う 早朝自然散策、バードウォッチングなど定着・・・観光・宿泊客から高い評価を得ている！
- ・本公園を利用した市観光協会主催イベントの実施
などにより利用者、観光客が増えている

烏川溪谷緑地 安曇野市 穂高・堀金（都市公園）

(2) 施設の利用促進

○バーベキュー利用禁止による効果

・年間約3千人（来園者の約1割）がバーベキュー利用していたが、マナー違反者が増加し、巡視員によるチラシ配布や注意喚起など対策を強化しても違反者が後を絶たないため、やむを得ず平成27年4月17日よりバーベキュー利用（一切の火気の使用）を禁止とした。

- ・バーベキュー利用者へは、市の広報、報道機関への情報提供、地元区への説明等により周知した。
- ・近隣バーベキュー可能施設との連携により、知らずに来られたバーベキュー利用者を近隣のバーベキュー施設に案内した。

効果

●公園利用者の増加

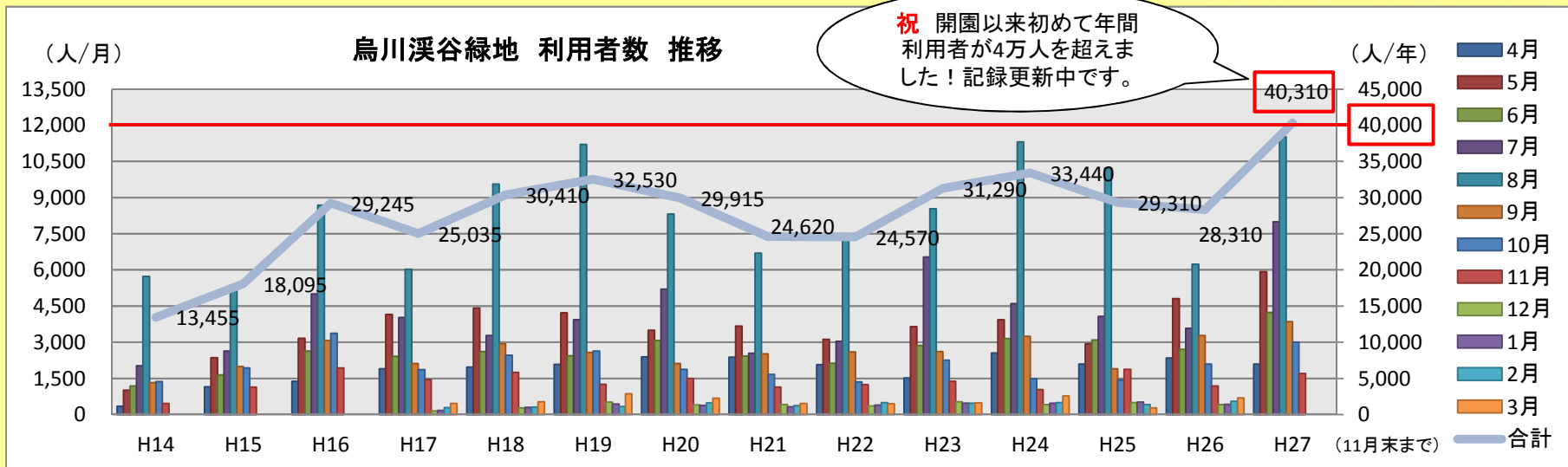
BBQ利用者の長時間駐車が減り、駐車場の回転が良くなり、利用者（来園者）数が大幅に増加した。
小さい子供連れ家族が増えた→小さい時から自然に触れ合う→将来に期待！

●環境負荷の低減

河川や浄化槽につながっていない水道で汚れたBBQ用具を洗わない
→ 水質の保全

●動物と人間の棲み分け

生ごみを捨てない→ 動物の餌付けにならない
→ 動物と棲み分けができる → 動物と人間との事故が減る



★★まずは、1度来て、観て 自然を感じてください！ 皆さまの御来園お待ちしております！★★